



福津市議会議員



石田まなみ

NEWS No.015

討議資料

発行日：2023年9月1日
発行：石田まなみ後援会
福津市東福岡3-2-1
☎0940-72-5188



6月議会（2023.6/12～6/29）

*補正予算から

電力・ガス・食料品等価格高騰 緊急支援給付金事業

電力・ガス・食料品の価格高騰による負担感が大きい低所得世帯への負担の軽減を図るため、すでに予算措置している非課税世帯に加え、家計急変世帯にも1世帯あたり3万円の給付を行う。

予算 60万円

子育て応援食育推進事業費

食費等の物価高騰で家計に影響を受けている、中学生までの子育て世帯に対し、市産直施設で利用できる「子育て応援券」を1世帯あたり1万円分配布する。

予算 7019万円

省エネ家電買替支援事業（環境保全対策費）

電力・ガスの価格高騰をふまえ、省エネ性能に優れた家電製品への買い替えに対し、補助金を交付する。

予算 3442万円

学校給食事業費

物価高騰による市内小中学校の学校給食の栄養バランスや量を保つため補助を行う。また市立幼稚園に対し、パンと牛乳の価格上昇分の補助を行い、保護者の負担を軽減する。

予算 7019万円

保育園費

給食材料費の価格高騰の影響を受けている市内の市立保育所や私立保育所等に対して、材料費に対する補助を行い、保護者負担を軽減する。

市立保育園

私立保育園等

予算 128万円

予算 1844万円

議案第50号 財産の取得について

宮司地区の新設小学校の建設事業用地として、 財産を取得する。

総務文教委員会では賛成少数で否決されましたが、本会議（最終日の6月29日）では、賛成多数で可決されました。

石田は、「2022年12月議会での、土地取得の予算には、それまで学校建設の計画にあった新設中学校の計画が消えてしまっていることについて疑義をもち、反対をしましたが、その後の臨時議会にて可決されていること、過密化している学校の現場の状況を考えて、まずは1校建てる必要がある。」と考えて、この6月議会での財産の取得の議案については賛成しています。

その他の議案（すべて賛成しました）

◆議案第46号 福津市公民館条例を改正することについて

老朽化が進む、宮司公民館の廃止決定に伴う条例の改正。

◆議案第47号 福津市税条例を改正することについて

2024（令和6）年度からの森林環境税の導入に伴う条例の改正

◆議案第48号 福津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する機軸を定める条例並びに福津市家庭的保育事業等の設備及び採井に関する基準を定める条例を改定することについて

国に「こども家庭庁」が設置され、管轄がこれまでの厚生労働省から総務省に変わったことによる、条例の本文の改定

一般質問①

福津市の公有財産
(行政財産) について

質問

最近、市役所の中庭が改修されたけど、イベントなどできるの？

【市の答弁】

閉庁時は使用できない、警備上はどのような対処が必要か、などの法令の範囲にもよりますが、本来の使用目的を妨げない範囲で検討していきたい。

質問

JR 福間駅の自由通路も、イベントで利用できますか？

【市の答弁】

通路なので、人が通れるスペースが確保できるなどの条件はありますが、こちらも検討していきたい。

質問

市役所中庭や JR 福間駅自由通路で、市民がイベントをしたいと思ったら、どうしたらいいですか？

【市の答弁】

いろいろな方法があるが、その中の1つの案として、未来共創センター「キッカケラボ」がつなぎ役として、市民に伴走し、イベントの実現をめざす。

福津市の公有財産についての
イシダの意見

昨年 2022 年の 6 月議会の一般質問で、有効活用できていなかった市役所中庭を市民が休憩するスペースとして改装を提案しました。2023 年 3 月にはベンチも設置され自由に利用できるようになっていきます。

また現在、市役所内では、平日日替わりで業者が入れ替わり、お弁当やパン、お菓子や雑貨などを販売しています。しかし一日に入れる業者は多くて 2 業者、また本館と別館の連絡通路での開催で、市役所に来られた皆さんに気づいてもらえないとのご意見もあります。その販売場所を中庭に移動すれば、もう少し多くの業者が同時に販売でき、また市内の業者であれば PR も兼ねることができそうです。

この中庭が市職員も含めた「憩いの場」や「交流の場」となることで市役所を利用する市民にとっての「相談しやすい場所」も自然とできていくのではないのでしょうか。2021 年の一般質問で「相談しやすい窓口」の提案をしましたが、より安心して相談ができる市役所になるよう引き続き注視していきます。

一般質問②

教育長の選任について

質問

新設校建設をはじめ、学校の課題が多い福津市では、常勤の教育長が必要ではないのでしょうか？

【市の答弁】

教育長の人事は急ぎかつ慎重に進めなければならないと思いますが、教育行政は教育長と教育委員会の合議制であり、教育長不在の今は、教育委員会の事務の進め方についても市長がアドバイスしながら進めている状況です。（※現在は教育委員の一人が教育長の職務代行をしています）

質問

市立の神興幼稚園では、園児数の減少が続き、2年保育から3年保育にしてほしいという要望が数年前から出ているが、これについても教育長不在では進められないのでしょうか。

【市の答弁】

数年前、集中改革プランを受けた審議会の中で、3年保育を望む意見がありました。この件については今後も検討課題だと承知していますし、そこには教育長のリーダーシップが重要だと認識しています。

質問

学校現場からも、特に教員の人事に関して教育長の不在が不安だという意見があります。場合によっては6月ぐらいから、人事に関する動きがスタートするという話も聞いています。次の議会（9月議会）での上程では遅いのではないのでしょうか。

【市の答弁】

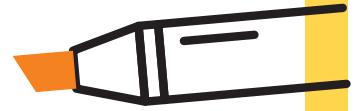
まず、人事権は教育長にはありませんが、質の高い教育行政をめざしていかなければならないことを認識しながら、教育長不在にかかる不安や不満を早期に解消しなければならないと考えています。

教育長の選任についての
イシダの意見

新設学校を含む過密化の課題だけでなく、保育や学校の現場で出てくる課題一つ一つを解決に向けるためにも、教育現場の声を行政に届ける役割を持つ教育長の存在は大変大きいものです。この教育長の不在については早急に解消しなければならない問題ですが、6月議会での提案がなかったため、一般質問で取り上げました。一日も早く教育長を選任し、教育現場、保護者の皆さんに安心していただけるよう、この問題に注視していきます。



ノルウェーの事例に 学んだこと



先日、「楽しく比例制をめざす会」の三井マリ子さんからの誘いで、「日本人の私がノルウェーの政党に入党して」というオンライン講習会に参加しました。講師は、ノルウェー在住28年半のリングダール裕子さんで、ノルウェーでの生活の様子から議会や選挙の政治の話などを聞きました。

参加者全員での意見交換の時に、議会の議決と少数派の立場になった時のことについて、1994年に開催されたリレハンメルオリンピックの事例を聞きました。

それによると、リレハンメルオリンピックをするかどうかを決める議会で、当然ですが賛成反対と両論ありました。特に反対意見の主なものは「環境破壊」を懸念することでした。しかし、採決の結果は「賛成」となり、オリンピック開催に向けて準備が進むことになりました。



ここで驚いたのは、少数派だった反対派です。日本では、少数派になるとイメージ的に「負け組」、その後は静観するという印象を持ってしまっているのですが、ノルウェーでは、

反対派は「オリンピックを開催すると決まったが、それならば環境に最大限優しいオリンピックにするため、自分たちも準備に参加する」と加わり、環境保護、自然との共生を前面に出したオリンピックとなったのは、記憶に残っている方もいるのではないのでしょうか。

このエピソードに「多様性を生かすための1つのヒント」をいただいたと感じました。

福津市の議会でも、少数派の立場になることはありました。どうしても思いがあるときは、討論もしてきました。

ただ主張するだけでなく、こういったかわり方も1つの方法として、今後の議員活動に生かしていきます。

